

大豆カメムシ類の 防除徹底をお願いします！

病虫害発生傾向

- ・ 登熟期の気温上昇のため落葉が遅れ、ハスモンヨトウの発生も遅くまで見られます。
- ・ 夏季の気温上昇と高温期が長期化したことにより、カメムシの発生量が増加するとともに発生時期が長期化しています。



ハスモンヨトウ



※アオクサカメムシ



※イチモンジカメムシ

※写真提供：栃木県農業総合研究センター

カメムシ類の被害を受けた大豆は「**吸害粒**」と呼ばれ、被害粒となり、等級に影響します！



※ホソヘリカメムシ



※ミナミアオカメムシ

防除の考え方

害虫の発生時期が長期化しているので、**開花後2回の防除を基本**とし対策をお願いします！

防除時期

は種～

開花
30日後

8月下旬

開花
40～50日後

9月上中旬

開花
60～日後

9月中下旬

基本防除（2回）

ヨトウムシ・カメムシ
紫斑病



紫斑病
カメムシ・ヨトウムシ

追加防除

多発時は散布感覚を短く、
回数を増やす

カメムシ・ヨトウムシ

- ・ 害虫が見られない場合でも、**開花30日後に紫斑病を含めて害虫防除を行いましょう。**
- ・ カメムシ類は、異なった種類が長期間ほ場に侵入するので、**こまめな観察と防除（1週間から10日後）を実施しましょう。**

大豆のカメムシ類に登録のある主な薬剤（令和7年4月24日現在）

スタークル液剤10



希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
1,000倍	収穫7日前 まで	2回以内	ジ/テフラ ン	ネオニコチ ノイド	4A

キラップフロアブル



希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
2,000倍	収穫7日前 まで	2回以内	エチフロール	フェニルピ ラゾール	2B

トレボンEW



希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
1,000倍	収穫14日 前まで	2回以内	エトフェン フロックス	ピレス ロイド	3A

エクシードフロアブル



希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
2,000倍	収穫14日前 まで	3回以内	スルホキサ フロル	スルホキシ イミン	4C

※IRACコードが同一な薬剤の連用は避ける

・カメムシ類は、異なった種類が長期間ほ場に侵入するので、**こまめな観察と防除（1週間から10日後）を実施しましょう。**